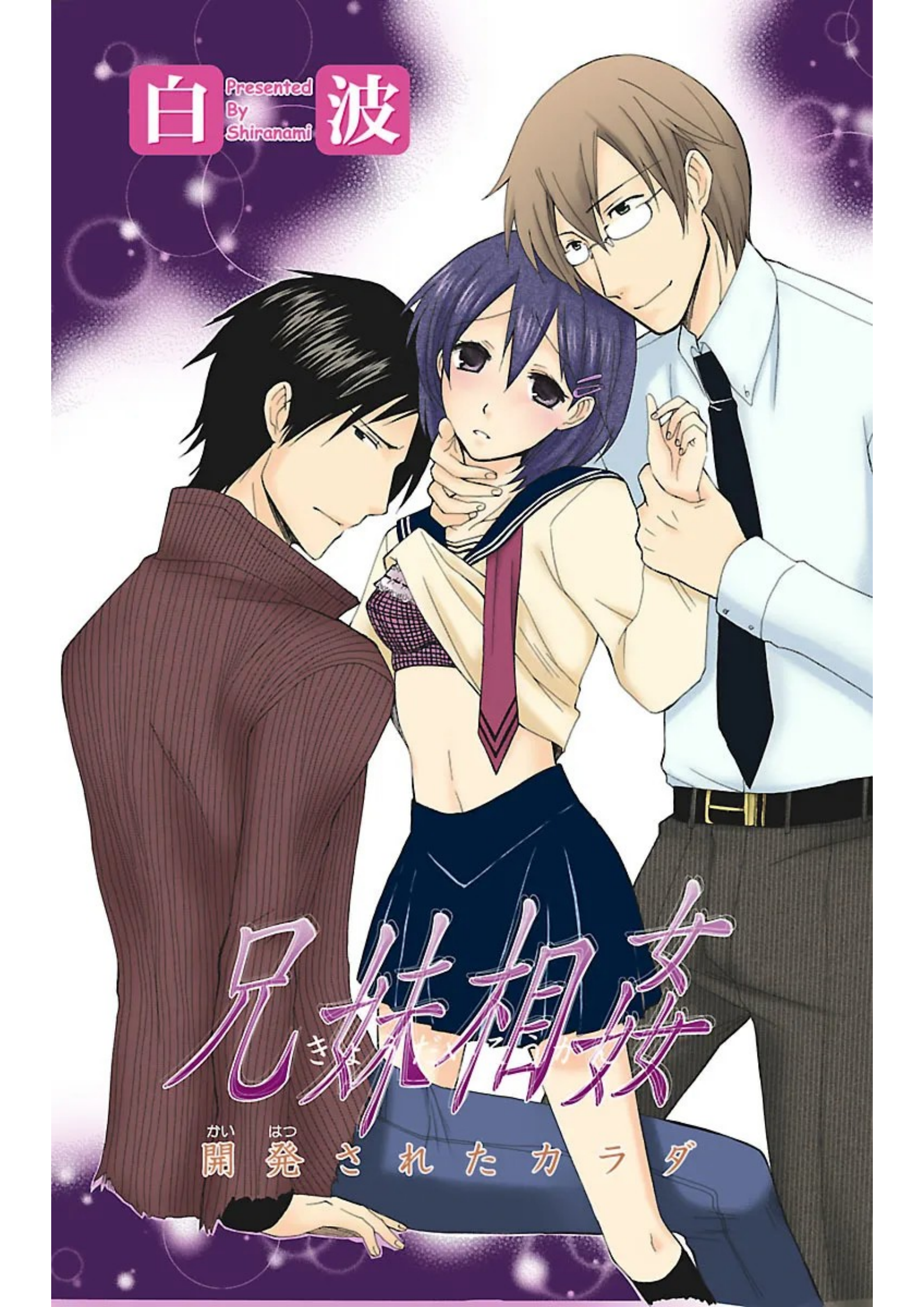


白

Presented
By
Shiranami

波

A manga-style illustration featuring three characters against a purple background with sparkling light effects. On the left, a young man with black hair, wearing a brown ribbed sweater, is shown in profile, looking towards the center. In the center, a young woman with short purple hair, wearing a school uniform consisting of a white short-sleeved shirt with a red tie and a dark blue pleated skirt, is looking slightly away with a blushing expression. On the right, a young man with brown hair and glasses, wearing a light blue dress shirt and a dark tie, is standing behind her, with his hands near her shoulders in a protective or affectionate gesture.

兄妹相姦

かい はつ
開 発 さ れ た カ ラ ダ

白

Presented
By
Shiranami

波

兄妹相姦

かいはつ 開発されたカラダ

白

Presented
By
Shiranami

波

兄妹相姦

開発されたカラダ

アキ

エビフライ好きだろ
兄ちゃんのも
食べていいよ

アキ…顔に
ソースついてる…

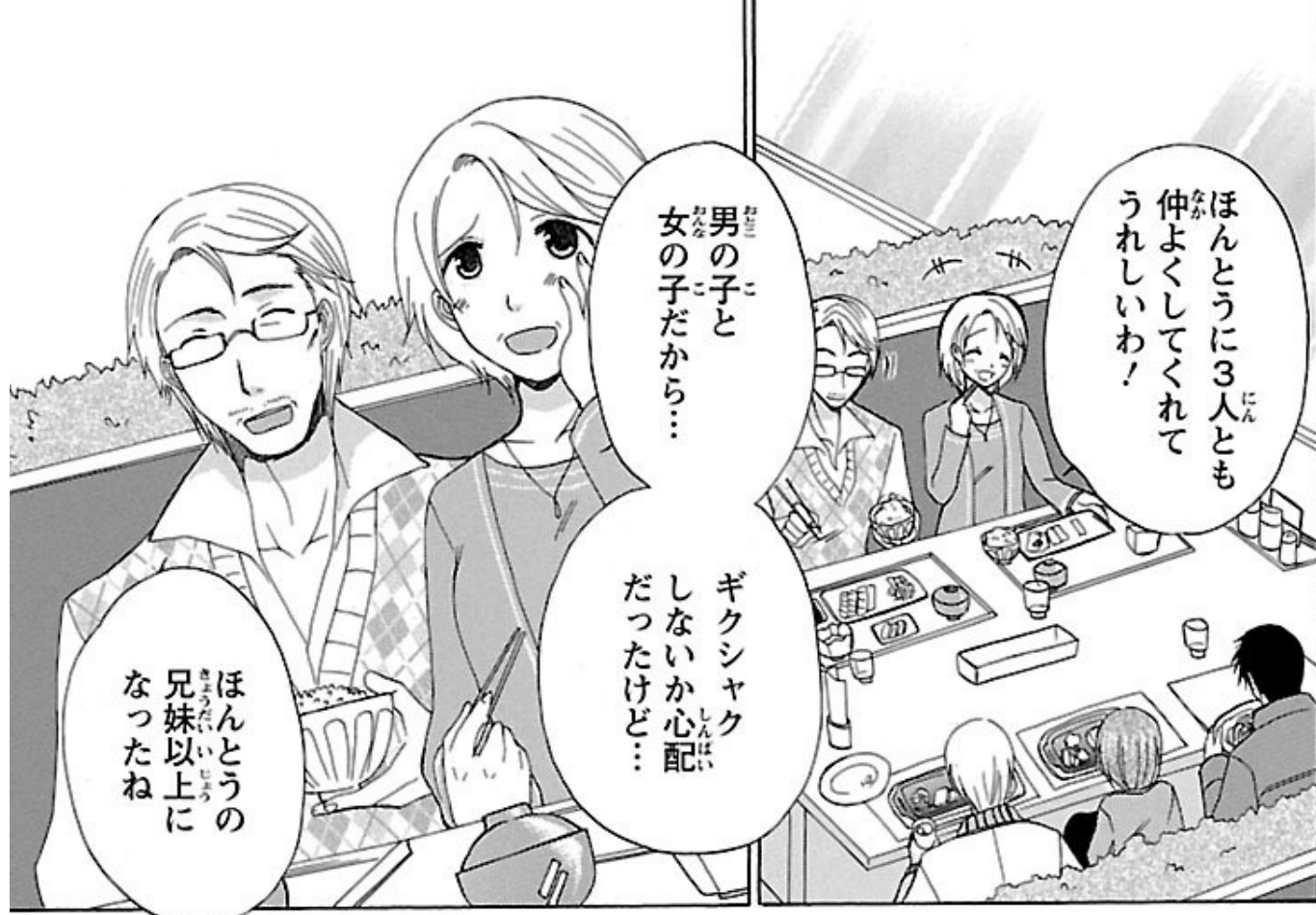
わたしには

ありがとう…

アスカお兄ちゃん

ヤマトお兄ちゃん

大きな秘密が
あります





お母さんが
再婚して1年目

…おまえがアイツに
ヘラヘラしてる
からだ…

き・よ・う・は・俺・の・日・だ
…俺だけをみている

俺のことだけ
かんがえてろ

わたしは…

血のつながりがない
とはいえ…「兄」と

体の関係を
もってしまった

おれ

俺は…

あにき
兄貴なんか
ま 負けないくらい
おまえのこと…

トク…

あつ

はじまりは
ヤマト兄にいからの告白…

いけないってわかっていても
やさしいお兄にいちゃんが
大好きだったから



…アスカ兄にい…!



ぼく・の・時・間・…
だね? アキ

もう日付ひづけ
変わってるよ



お兄^{にい}ちゃ…
こんな…廊下^{ろうか}で

なに父^{とう}さんや
お義母^{かあ}さんだつて
ヤツてるよ…

いま
今ごろ…

それに

僕の^{ぼく}いうこと
きかないと
どうなるか…

もじり

この人^{ひと}に
バレてからは…

お義母^{かあ}さんの幸^{しあ}せな
笑^え顔^が…消^けしたくは
ないよね？



おこえ
大声だと
バレちゃうよ？
いいの？



やだっ！

わたしはされるがまま...

...まだ...
ぬれてるね



...ごめん
ごめん

お
お兄ちゃん...
...もう...

そう...

いこうか
部屋

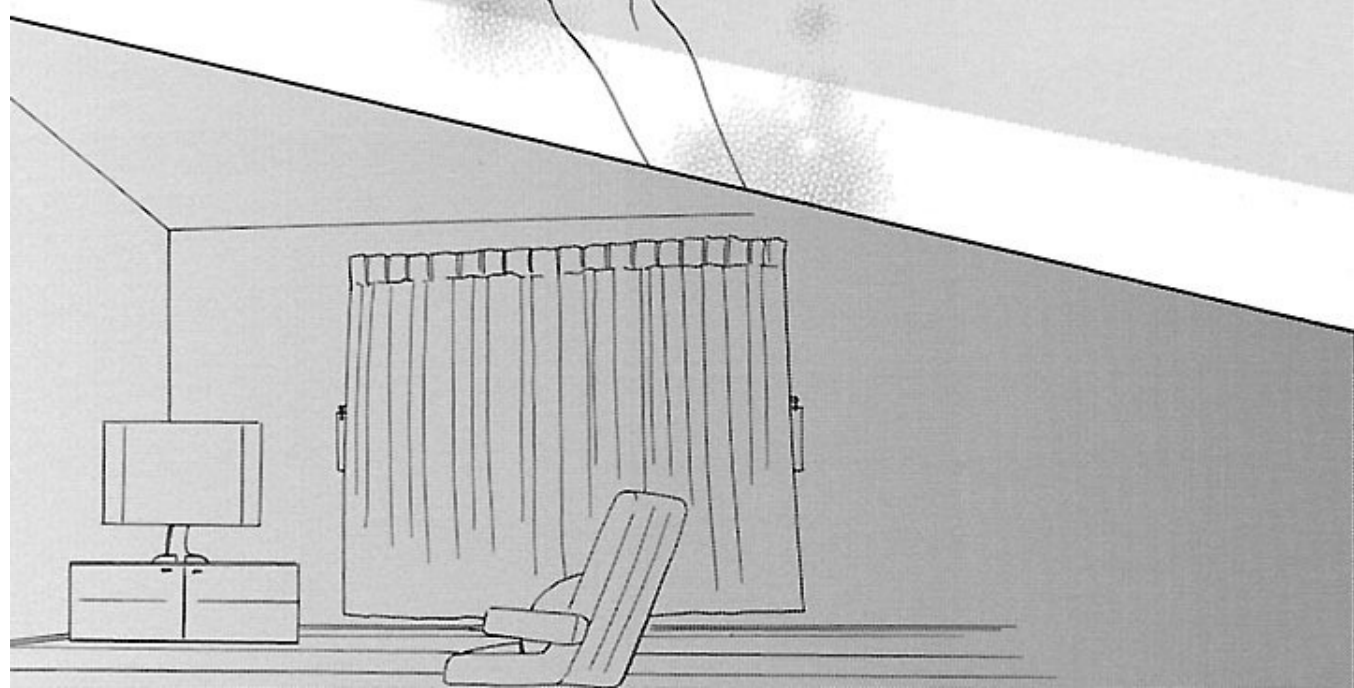
...意地悪
しすぎたね

奇数日^{きすうび}にはヤマト兄^{にい}

偶数日^{ぐうすうび}にはアスカ兄^{にい}

日替わり^{ひが}で…

わたしは抱^だかれる







楽しくて幸せな
家庭が崩壊する
のが怖い？

それとも…



ヤマト兄？



…ヤマト兄は
やさしいな…

んーん

気にしてなんて
なかったし

クールなお兄ちゃんが
熱くなってくれて
うれしかった

アキ…

うん！

…
少しよりみち
して帰ろうか

幸せには
まちがいないけれど—

これは禁じられた恋きんじられたこひ

やっではいけないコト

さあ
アキ

きようは僕ぼくの脚あしで
イクんだ

おかしく
なってるのかな…

えっ

ヤマト兄お兄を想いながら
アスカ兄お兄にもてあそばれて…

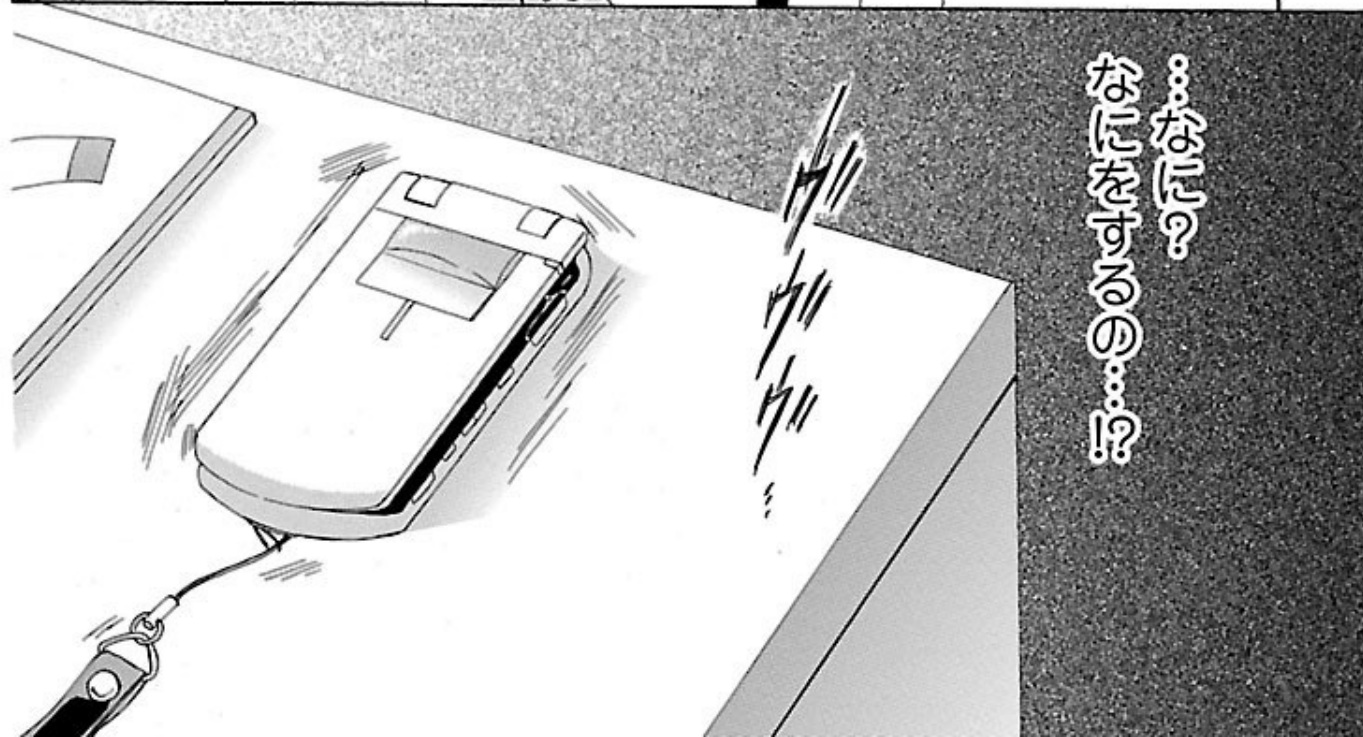
なんならその格好かっこうで
リビングまで
つれていこうか？

っ

セクッ

ドキドキして







——なに？今の…

いい子だ

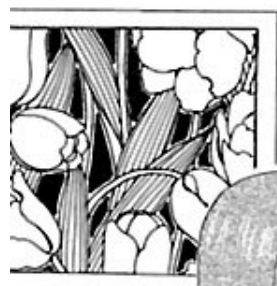
くたっ…

おいっ
あにき
兄貴っ!!

……え…？

なんで
ヤマト兄が…!?

まさか
いまでんわ
今の電話…



やあ

…なにかが
おと
音をたてて
くず
崩れていった気がした

ヤマト

きょうはふたりに
いっておきたい
ことがあって

…えっ

!!

…なんの
マネだ

僕はね

最初はヤマトに
アキを奪われて
ショックだったから

ふたりのこと
父さんたちにバラす
っていったけど…

「今」とっても
楽しいよね

どこまでも
あまひくこえ
甘く低い声…

スリリングで
快樂に満ち
足りてる

これから3人で
楽しまないか？
「今」を…さ



さ

ヤマト

狂気にも
似た

やわやわ...

ムム

ムム

僕の目の前で
アキを満足させて
やってくれないか？

アキのココ。
おまえのがほしくて
しょうがない
んだってさ

やわやわ

わかるね？

拒否^{きよひ}すれば
すべて終わる…

いや 拒否^{きよひけん}権
なんてないんだよ
最初^{さいしよ}から

——
ああ…

こわれて
いく…









だいじょうぶ
大丈夫……
です……

たのしんで……
きて……ください！



そうだよ
だいじょうぶ
大丈夫だよ
父さん

協力しあつて
やりますよ

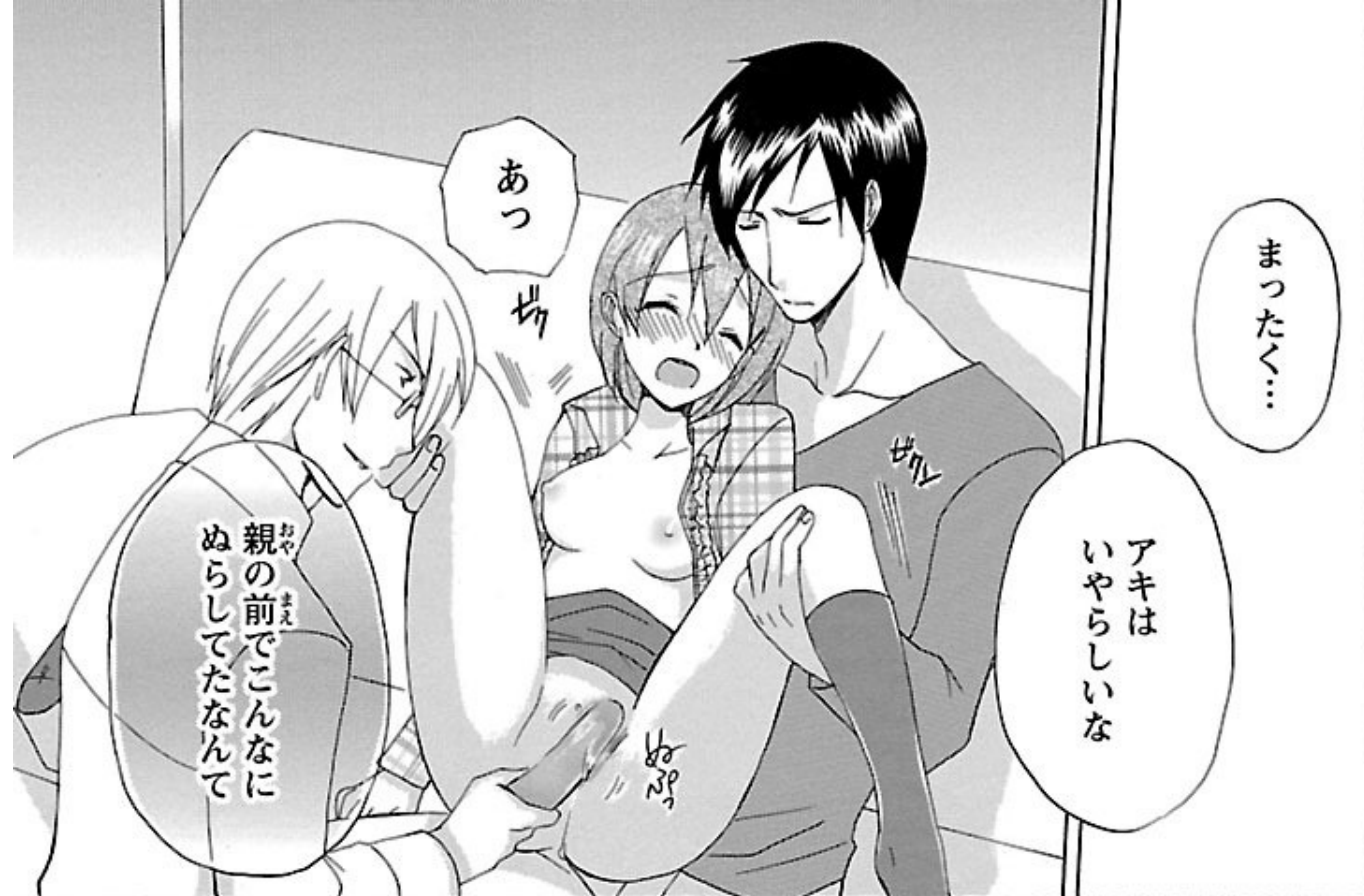


もっ、

ぼくらは
ちのち
血の繋がりを
超えた兄妹
ですから

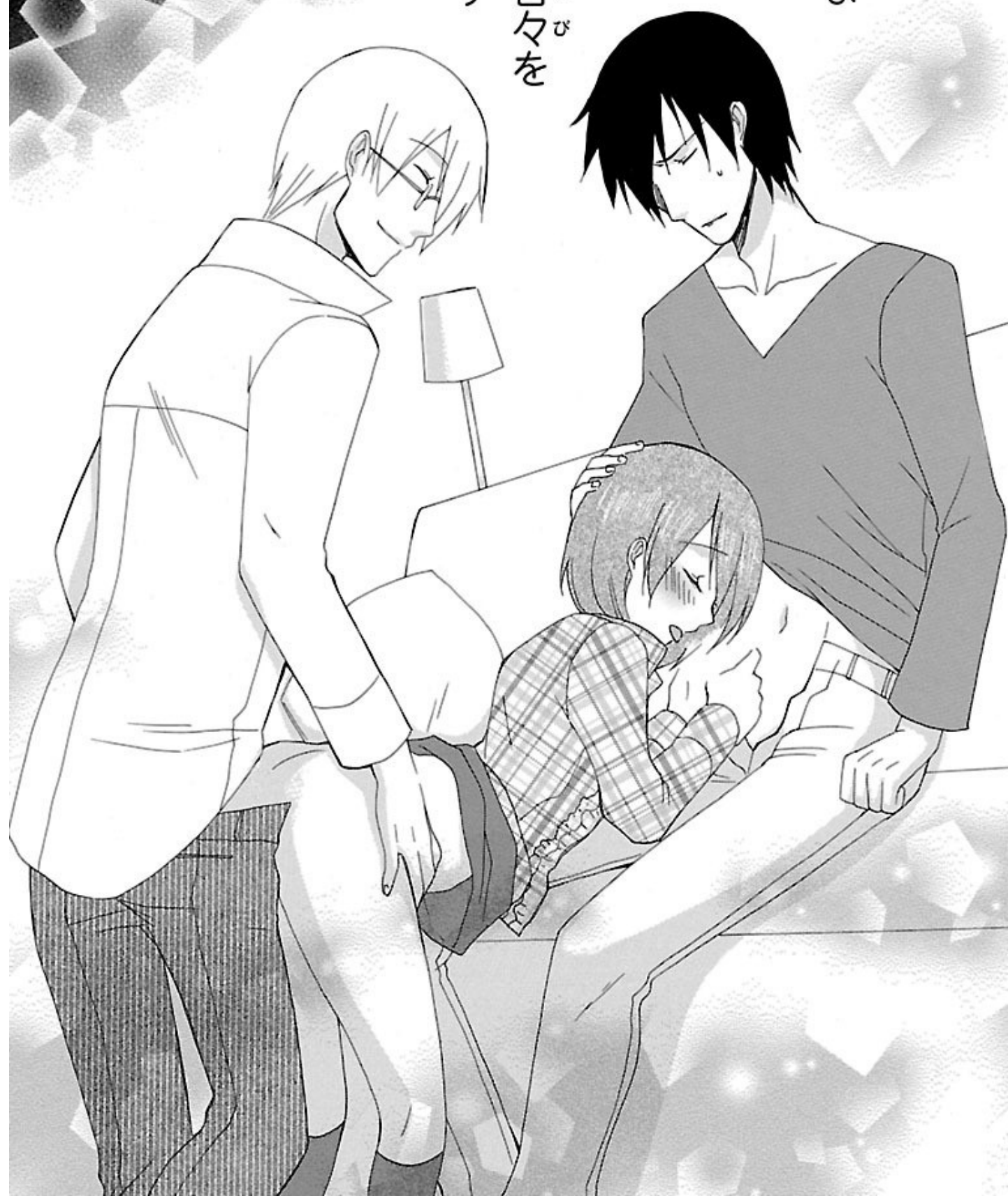
ウッ
ウッ
ウッ





ヒミツを
かかえたまま

かわらない日々を
おく送っています



父親。掻き乱される ワタシの内側

ちちおや。かきみだされるわたしのうちがわ



白

Presented
By
Shiranami

波

ワタシがおとーさんに
で
あ
出逢ったのは
いま
ねんまえ
今から7年前のことになる





おかあさんがこうやって
男の人を連れてくることは
たくさんあったけど…



あのときほど
ドキドキしたことは

ほかになかった。



…はじめてだったから



ひさを折^おつて
ワタシの目線^{めせん}で
会話^{かいわ}してくれたのは

おとーさんが
はじめてだったから



…そっか

もう7年^{ねん}にも
なるんだ…

〇〇



カチャ

!!!

カチャ
カチャ

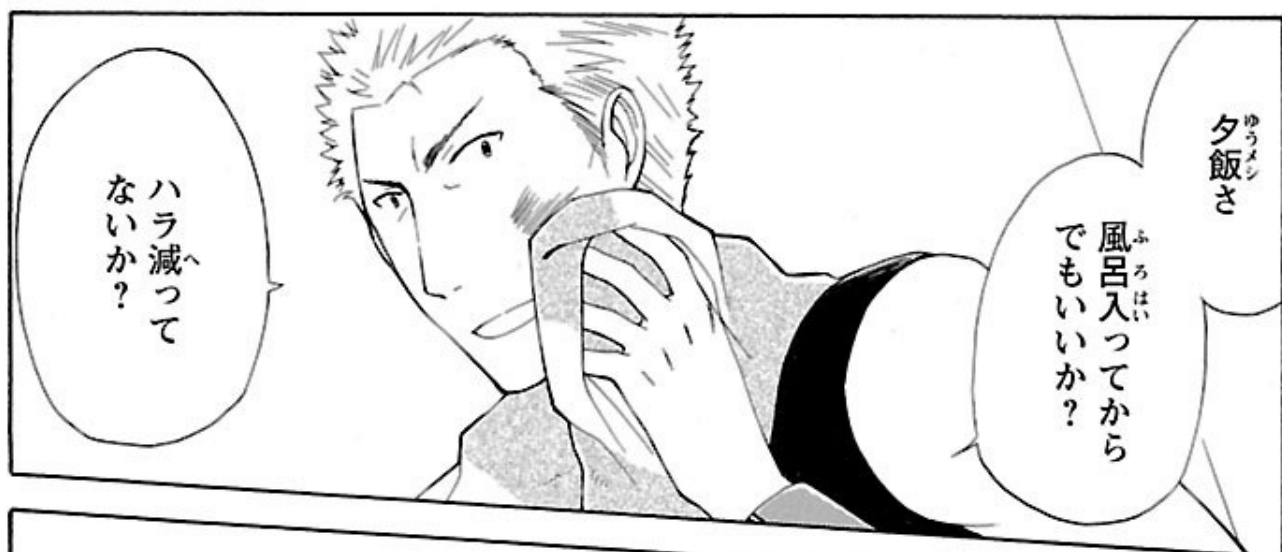
カチャ
カチャ
カチャ

おとーさんと
暮らしてはじめて

帰ってきた!

かえ
帰ったぞ——



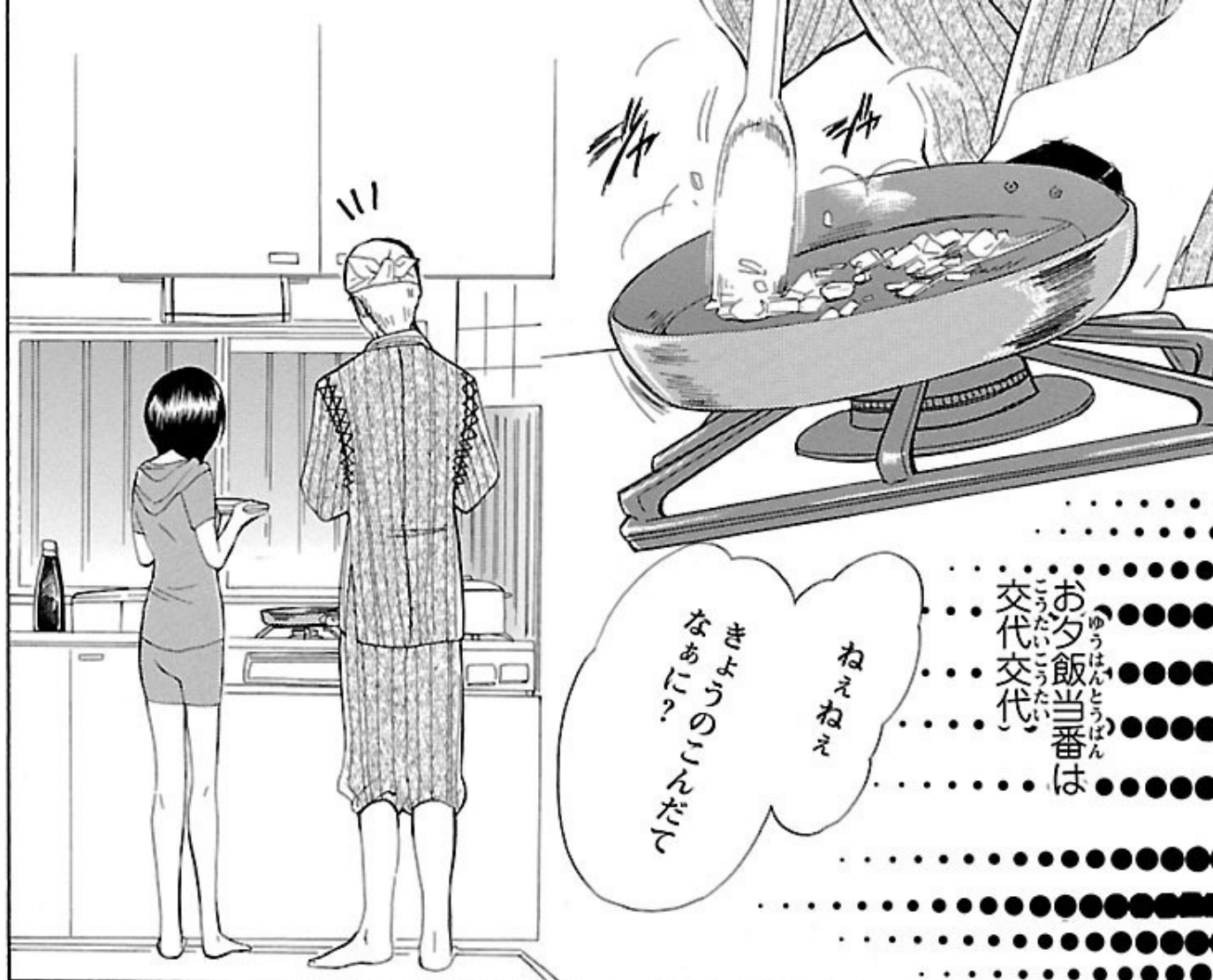


お
お
大つきい背中せなかに
ひや
日焼けした肌はだ

すぐ
でるからよ

とっても低い声ひくこえは
いつもおだやか

男らしくておとこ
やさしいおとーさん



…また…
ケガしたんだ…

でも…仕事しごとのグチひとつこぼさず
まいにちまいにち
毎日毎日働いて…



どうした？

そんなじつとみて…
なんかついてるか？

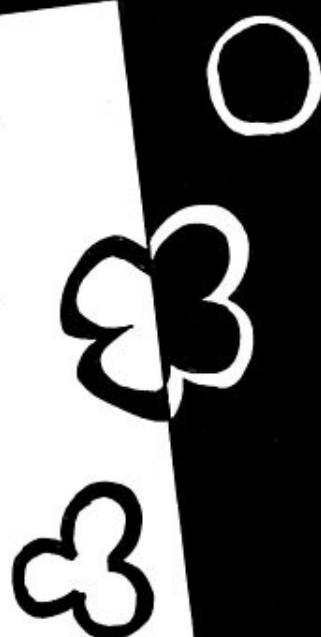


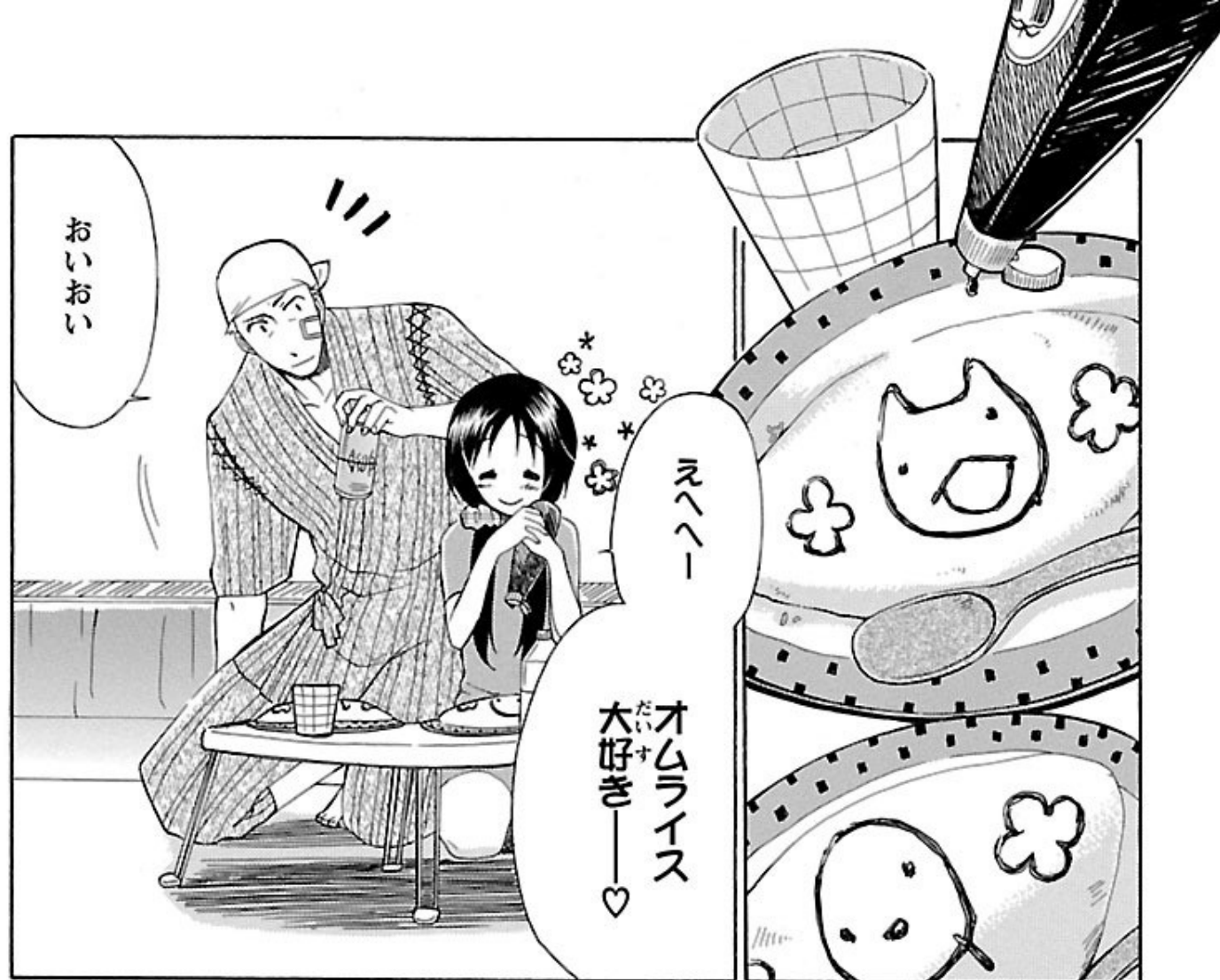
ううん

なんでもない



…おとーさん…





おとーさんのこと…

ただのちちおや義父だなんて思おもってないんだよ



どうして

血ちも繋つながってないのに
大だい事じにしてくれるの？

どうして

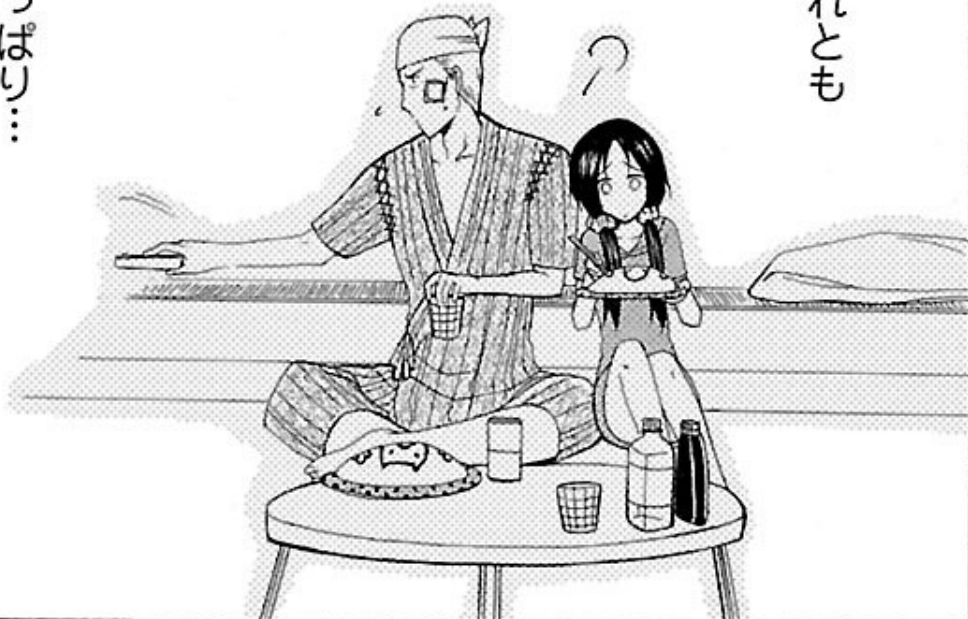
ワタシをまもって_てくれるの？



それとも

やっぱり…

おかあさんのことが
あるから？



おとーさんが
きたのに入れかわりみたいにな
いなくなってしまった



「おかあさんの
忘れ形見」

だから？

うあああん！

おかあさん！

おかあさん！



可^か穂^ほは

俺^{おれ}が！

とーさんが
まも
守るから！

…代^かわりでいいから

ずっと

いっしょに
いるから

おかあさんの
代^かわりでいいから

あ
い
愛されたい

……ん

いったいどんな
感じなのかな



あの太い腕に
抱きすくめられたら…







それだけでも いいの









なんで

そんなこと
いうの…?

いやだよ…

ワタシは…

おとーさんと…
いっしょがいい…

可穂…

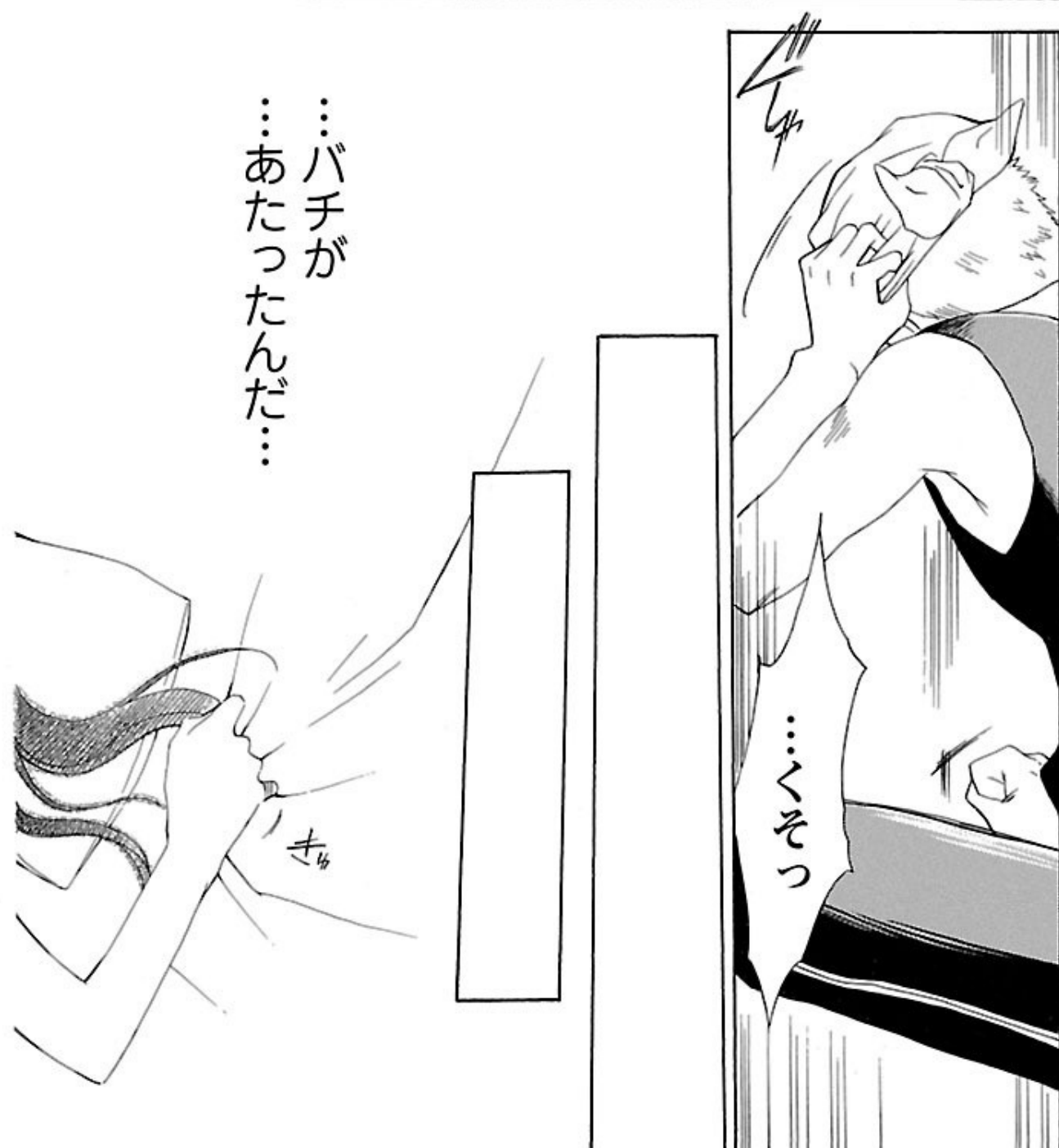
おとーさんに
あま
甘えすぎてワガママ
いっぱいいってるなら
なお
直すから!!

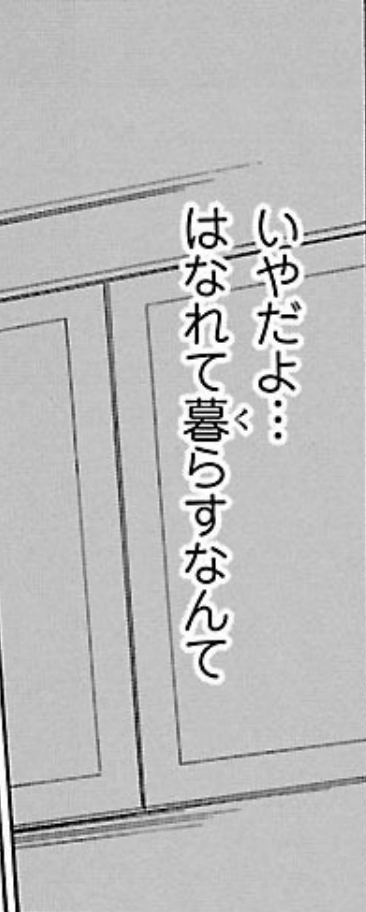
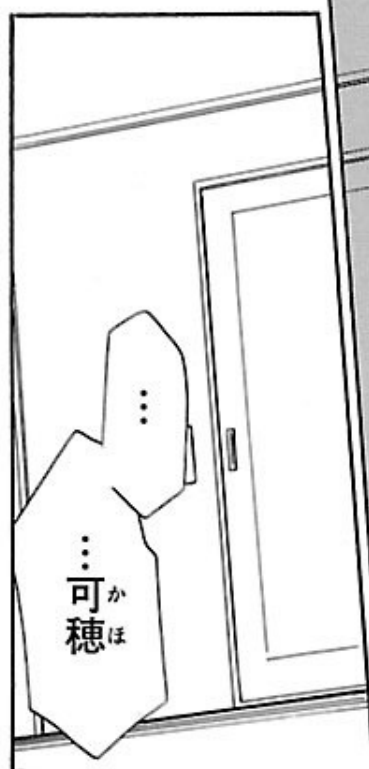
もしっ…もしも
おとーさんに好き^すな
…人^{ひと}が…できて…

ワタシが邪魔^{じゃま}に
なったって
いうなら…っ

どうして
急に…

どうして





俺おれな

おまえにたい対する
愛情あいじょうが…

父性ふせいなのか…
男おとことしての
それなのか…

自分じぶんでも
よくわからない
んだよ

おまえを
育てようと思おもった
のは…

幼おきないおまえが不憫ふびん
だったっていう純粋じゅんすいな
気持きもちだったのに

…
おとーさん？

おかしいよな

年々ねんねん懐なついて
キレイになつてく
おまえをみてたら…

…



いい父親を演じて
嫌われないように
してたなんて…

軽蔑するだろ？
父親失格だよ…

…ワタシは



…

…おとーさん
ワタシはずーっと
待ってたの

おかあさんの
代わりでもいいって
思ってたの…



でも
今は



世間^{せけん}に白い目^{しろめ}で
みられることだとしても

あつ

名^なまえ呼^よばれて
あんなことされたら

おかしくも
なるさ…

んっ

だつてっ

ずっと…ずっと
さわってほしかった
んだもん

今^{いま}のワタシたちには
快^{かい}楽^{らく}のあとおし
でしかなかった

あ

気持^{きもち}いい…

おとーさんの口^{くち}の中^{なか}
あついよ…

待たせた分

思いっきり

気持ちよく
しないとだからな

…すごい…
好きな人に触れられるのって…

ああっ

こんなに
気持ちいいんだ…

ゆ

指じや
やあ…!

もう

おとーさんの…
いれてほしの…!

あう





——ひくひくこえが　　みみ耳をかすめた

俺たちの関係が
この世で許されるものじゃ
なくても

世の中のすべてを敵に
まわしてもかまわない

自分に
ウソはつけない

ワタシがおとーさんに
出逢ったのは
今から7年前のことになる

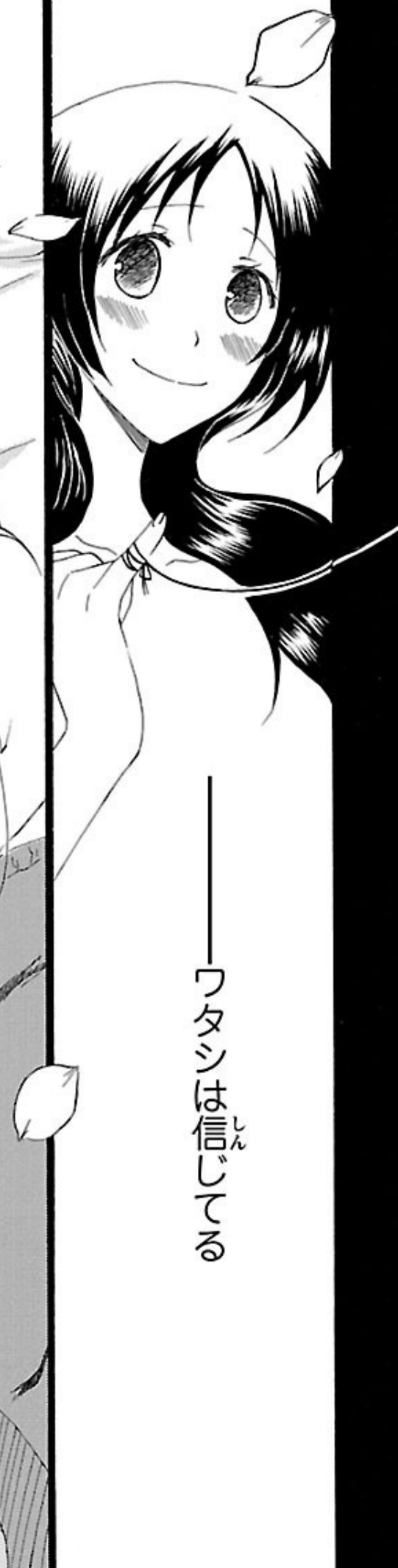
きっと
あのときから
恋してた。



あの日^ひ
うんめい^で
運命の出逢いをしたんだって



——ワタシは信^{しん}じてる



END

兄妹相姦
開発されたカラダ

白波

© 白波／大都社／秋水社